

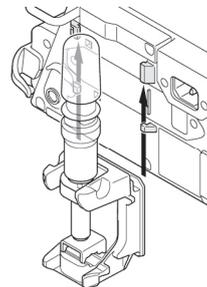
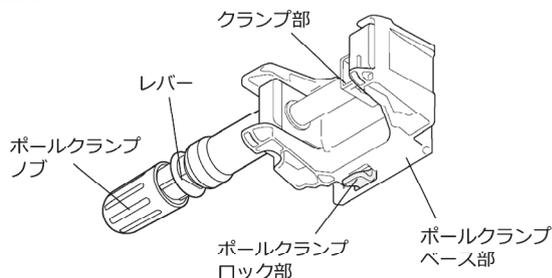
機械器具 74 医薬品注入器
高度管理医療機器 汎用輸液ポンプ (JMDNコード：13215000)

「テルフュージョン輸液ポンプLM型」の付属品

(テルフュージョンワンタッチポールクランプ コード番号：TE・877)

* [形状・構造及び原理等]

<構造図>



* [仕様に係る事項]

使用条件

周囲温度：5～40℃

相対湿度：20～90%RH (ただし、結露なきこと)

気圧：70～106kPa (700～1060hPa)

【使用目的又は効果】

<使用目的>

本品は、本体である輸液ポンプや指定の輸液ポンプ、シリンジポンプを輸液スタンド等に装着するためのものである。

なお、テルフュージョン輸液ポンプLM型は、輸液剤等の医薬品又は血液を設定した時間当たりの流量で持続的に注入する装置である。

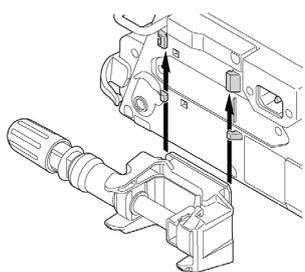
【使用方法等】

1. 本品のポンプへの取り付け・取り外し方

(1) 本品のポンプへの取り付け

1) 縦向き支柱へ取り付けの場合

ポンプ背面の溝に沿って、本品を横向きにした状態で下からさし込む。



- ・本品をしっかりとさし込むこと。
- ・本品を取り付けると、ポールクランプロック部でカチッと音がすることを確認すること。
- ・輸液スタンド等の取り付け方については、ポンプの取扱説明書を確認すること。

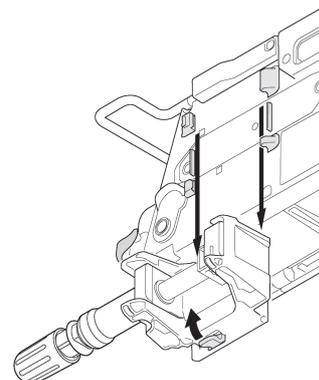
2) 横向き支柱へ取り付けの場合

ポンプ背面の溝に沿って、本品を縦向きにした状態で下からさし込む。

・縦向きに取り付けた場合、ポンプはラックシステム (コード番号：TE-RS700N、TE-RS800N、TE-RS811N) に装着することができない。

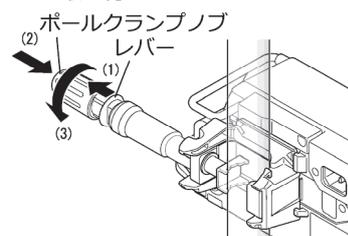
(2) 本品のポンプからの取り外し

ポールクランプロック部を押したまま、ポールクランプを下側へ引き出す。



2. 輸液スタンドへの取り付け・取り外し方

(1) 輸液スタンドへの取り付け



- ・ポールクランプノブを (3) の方向に回し、輸液スタンドへ確実に固定する。
- ・より早く取り付けるには、輸液スタンドに固定されていない状態で (1) の方向にレバーを引きながら (2) の方向にポールクランプノブを押し込み、(3) の方向にポールクランプノブを回して固定する。

(2) 輸液スタンドからの取り外し

- ・ポールクランプノブを (3) の逆方向に回し、取り外す。
- ・より早く取り外すには、ポールクランプノブを (3) と逆方向に回して少し緩め、(1) の方向にレバーを引いた状態で、(2) と逆方向にポールクランプノブを引く。

【適用機種】

テルフュージョン輸液ポンプLM型 (コード番号：TE-LM702A、TE-LM800A) 以外に、以下の機種に適用可能である。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ・テルフュージョン輸液ポンプLF型
(コード番号：TE-LF600N、TE-LF602N)
(医療機器承認番号：22400BZX00230000)
- ・テルフュージョンシリンジポンプSS型
(コード番号：TE-SS702N、TE-SS800N)
(医療機器承認番号：22400BZX00231000)

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 本品を輸液スタンド等に取り付ける際、及び本品をポンプに取り付ける際は、確実に固定すること。また、スタンドの安定性を確認すること。[本品及びポンプが落下する可能性がある。]
2. 本品は、指定のポンプへ取り付けること。[指定外のポンプに取り付けると、落下等による故障や事故の原因となる。]
3. 本品をポンプに装着する際は、確実に装着されたことを確認すること。[本品又はポンプが落下する可能性がある。]
4. 本品を輸液スタンドに取り付ける際は、確実な固定が確認できるまでは手を離さないこと。[確実に固定されていないと、ネジが緩んで落下する可能性がある。]
5. レバーを引いた状態で、ポールクランプノブを回さないこと。[破損の原因となる。]
6. 輸液スタンドに固定された状態で、レバーを引かないこと。[破損の原因となる。]

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

輸液スタンドに固定したまま移動する際は、ポールクランプノブを持ったり、上から力を加えないこと。[本品のずれや、破損により、ポンプが輸液スタンドから落下、破損したり、けがの可能性がある。]

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

[保管条件]

周囲温度：-20～45℃

相対湿度：10～95%RH (ただし、結露なきこと)

<耐用期間>

指定の点検を実施した場合の耐用期間：6年 (自己認証による)

【保守・点検に係る事項】

[保守・点検上の注意]

1. 消毒の際は、オートクレーブや滅菌器等は使用せず、消毒液に浸したガーゼ等をよくしぼってから本品を軽く拭き、その後、水又はぬるま湯に浸してよくしぼったガーゼ等で、消毒液を拭き取り、更に乾いた柔らかい布等で水気をよく拭き取る。なお、希釈率はその製品の電子添文の記載に従うこと。使用可能な消毒液(成分名)例は以下のとおりである。
クロルヘキシジングルコン酸塩/ベンザルコニウム塩化物
2. アルコールやシンナー等の有機溶剤やポビドンヨードでは拭かないこと。[有機溶剤を使用したり、使用可能な消毒液以外を使用した場合、本品の破損や故障の原因となる。]
3. 本品を、流水や水没させての洗浄は行わないこと。[本品は防水構造ではないため、破損、故障する可能性がある。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：テルモ株式会社

電話番号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター

